

- **通信総合研究所職員ベンチャー起業支援制度利用によるベンチャー第1号「株式会社カオスウェア」設立**
- **平成15年8月27日**

通信総合研究所(以下CRLという。理事長 飯田尚志)の職員ベンチャー起業支援制度(プレベンチャー制度)は、当所研究者が自分の研究成果を基に、ベンチャー起業を行うことを支援する制度で、独立した予算と環境が与えられます。その内容は、起業前に製品化直前のプロトタイプ開発やシステム実証実験の実施を当所の研究開発業務として専念できるというものです。

今般、本プレベンチャー制度を利用した第1号ベンチャー企業「株式会社カオスウェア」が8月26日設立されました。

同社は、梅野主任研究員の研究成果であるカオス暗号理論を、プレベンチャー制度によって、非常に高速な暗号処理速度を達成する暗号チップの開発に成功(3)し、ベンチャー企業化したものです。当面の主力商品は、「衛星用TV会議システム」や「ファイル暗号化ソフト」等で、これら商品の開発と販売を行っていく予定です。

なお、同社は、科学技術振興事業団(理事長 沖村憲樹)が実施している研究成果最適移転事業 成果育成プログラムCにおける研究成果を活用します。

梅野 健は、同社設立と同時に取締役副社長へ就任しました。

今年度、新たに梅野とは別の研究員がプレベンチャー制度に採択され起業に向けて活動を開始しました。CRLの研究成果を研究者自ら積極的に技術移転することを支援することにより、今後、CRL発ベンチャーを育成していく予定です。

(1)所内ベンチャー支援制度に係る資料

http://www2.crl.go.jp/kk/e412/CRL_News/0204/frame/002_flame.html

(2)活用する研究成果の1つであるカオスCDMAに係る資料

<http://www2.crl.go.jp/kk/e414/101kenpatsu/ronbun/umeno.pdf>

(3)活用する研究成果の1つであるカオス暗号VSCに係る資料

<http://www2.crl.go.jp/pub/whatsnew/press/030415-1/030415-1.html>

(4)活用する研究成果の1つ-第5回 LSI IP アワード IP賞受賞論文

<http://www.iptc.co.jp/open/pdf/ipa03b.pdf>

(5)活用する知的所有権の1つに係る資料

<http://www2.crl.go.jp/kk/e414/shuppan/kihou-journal/kihou-vol48no3/05.pdf>

<連絡先>

企画部研究連携室

澤田 史武 Tel:042-327-7464

<補足資料>

会社の概要

企業名 株式会社カオスウェア
設立日 平成15年8月26日
住所 〒184-8795 東京都小金井市貫井北町4-2-1
(独立行政法人 通信総合研究所内)
資本金 1,000万円
株主構成 梅野 健 50%
その他4名の個人 50%

役員構成

代表取締役社長 高 明慧
取締役副社長 梅野 健
(平成16年4月以降は代表取締役として経営参加予定)
取締役 石崎 利和
監査役 樋口 昭太郎
従業員数 4名

事業概要(活用する研究成果と事業の関係)

<特許—事業マップ>

A群—カオス暗号、その応用製品の製作、販売。高精度カオス乱数の配布、及び鍵センター。

B群—光カオススイッチングデバイスの開発・製造・販売。

C群—カオスCDMA(第3世代携帯電話の高度化、次世代通信技術)チップの設計・販売。

D群—カオスコンピューティング法に基づく高精度・高速シミュレーションの受託・シミュレータの開発・修正及び販売

E群—非ガウス型分布に基づく保険・証券・資産運用リスク評価用シミュレータの開発・販売。

F群—カオスに基づく公開鍵暗号、及びそれを応用する認証・署名技術

<活用する特許群>

A群:バンド幅の高い乱数ベクトル列発生の基本アルゴリズムの発明:特許1、特許10

B群:非線形効果を用いる高速光デバイスの発明:特許2、特許3、特許7、特許11、特許12

C群:カオスCDMAにおける拡散変調方式の発明:特許4、特許5、特許15

D群:カオスを用いたモンテカルロ法の発明:特許6、特許13

E群:カオス理論によるレビプロセス(確率過程)発生方法の発明:特許8、特許14

F群:カオスを用いた新しいタイプの公開鍵暗号の発明:特許9

所有特許リスト

(リストはCRLと梅野主任研究員が共有する特許権。但し6、13は梅野主任研究員と理化学研究所が共有。)

1. 第3030341号、「ランダムなベクトル列の出力装置、出力方法、および、情報記録媒体」、特許登録日：平成12/2/10(2000)。
2. 第3074310号、「光信号増幅器、光信号増幅方法、および、情報記録媒体」、特許登録日：平成12/6/9(2000)。
3. 第3096703号、「光信号変調装置、および、光信号変調方法」特許登録日：平成12/8/11(2000)。
4. 第3234202号、「擬似雑音系列の出力装置、送信装置、受信装置、通信システム、擬似雑音系列の出力方法、送信方法、受信方法、および、情報記録媒体」特許登録日：平成13/9/21(2001)。
5. 第3314181号、「擬似雑音系列の出力装置、送信装置、受信装置、通信システム、フィルタ装置、擬似雑音系列の出力方法、送信方法、受信方法、フィルタ方法、ならびに、情報記録媒体」特許登録日：平成14/6/7(2002)。
6. 第3357263号、「統計的シミュレーション方法及びこのプログラムを記録した記録媒体」、特許登録日：平成14/10/4(2002)。
7. 第3396883号、「光カオス乱数発生装置」特許登録日：平成15/2/14(2003)。
8. 第 3455469 号、「確率過程の出力装置、出力方法、および、情報記録媒体」特許登録日：平成15/7/25(2003)。
9. 第3455483号、「公開鍵暗号システム、暗号化装置、復号化装置、暗号化方法、復号化方法、および、情報記録媒体」特許登録日：平成15/7/25(2003)。
10. 第 3455748号、「ベクトル列の出力装置、出力方法、および、情報記録媒体」特許登録日：平成15/8/1(2003)。
11. 特願2000-012930号(出願番号)、「光信号演算回路、および、光信号演算方法」特許査定日：平成15/8/8(2003)。

以上、国内

12. 米国第6,263,146号、「Apparatus for optically generating chaotic random numbers」特許登録日：平成13/7/17(2001)。
13. 米国第6,289,296号、「Statistical simulation method and corresponding simulation system responsive to a storing medium in which statistical simulation program is recorded」特許登録日：平成13/9/11(2001)。
14. 米国第 6,477,481号、「Device and method for outputting stochastic processes, and data recording medium」特許登録日：平成14/11/5(2002)。
15. 米国 09/559,444号(出願番号)、「System, apparatus, and method for outputting pseudorandom noise sequences, and recording medium」特許査定日：平成15/ 5/5 (2003)。